

ポスター発表（一般会員の部）

会場：P1 会場（講義棟 207 号教室）

講演番号

- P001 イタドリハムシの斑紋色彩変異と分子系統解析
伊井久人 1・○野村昌史 2（千葉大・園 1・千葉大院・園 2）
- P002 龍ヶ崎市における最近 20 年間のチョウ類の出現期の変化
○松本和馬 1・山本道也 2（森林総研 1・流通経済大 2）
- P003 絶滅危惧 I 類クロシジミの遺伝構造
○竹内剛 1・清拓哉 1・高橋純一 2・椿宜高 1（京大・生態研 1・京産大・総合生命 2）
- P004 コチャバネセセリ幼虫の食草上での巣場所選択
○井出純哉 1（久留米工大・工・教育 1）
- P005 *Bactrocera* 属ミバエ類の体サイズと卵巣小管数・卵サイズの関係
○山岸正明（沖縄県病害虫センター）
- P006 里山における管理の異なる生息地でのルイスオサムシ個体群の性比と分散の季節的变化
○山下英恵 1・富樫一巳 1・桐谷圭治 2（東大院・農学生命 1・伊東市 2）
- P007 同一資源を利用するイモゾウムシとアリモドキゾウムシの種間競争
○栗和田隆・熊野了州・城本啓子・原口大（沖縄防技セ）
- P008 水田に発生する主要な節足動物の農法間比較 4. 減農薬・減化学肥料、有機および慣行栽培水田の違い
○西城洋・森本信生（農研機構・中央農研）
- P009 農地生態系における景観構造がハナバチ類の採餌ハビタット選好性に及ぼす影響
○宇都宮大輔 1・笠木哲也 1・大宮正太郎 1・湯本貴和 2・中村浩二 1（金沢大 1・地球研 2）
- P010 ゾウムシ類における細胞内共生細菌の生物学的機能
○細川貴弘 1・栗和田隆 2・熊野了州 2・城本啓子 2・原口大 2・古賀隆一 1・深津武馬 1
（産総研 1・沖縄防技セ 2）
- P011 マルカメムシの必須共生細菌の確実な垂直伝達を担う共生細菌カプセルはどうやって作られるのか？
○古賀隆一 1・細川貴弘 1・菊池義智 1・深津武馬 1（産総研・生物プロセス 1）

- P012 異種混合コロニーにおけるシロアリ共生原生生物の受け渡し
多田さくら・○北出理1 (茨城大・理)
- P013 コナガサムライコマユバチにとって普通のキャベツの葉の上は歩きにくい？
○高篠賢二 (北海道農業研究センター)
- P014 電気生理学的解析によるナミアゲハ (*Papilio xuthus*) ふ節感覚子の味覚受容機構の解明
○龍田勝輔1・谷村禎一2・吉川寛1・尾崎克久1 (JT 生命誌研究館1・九州大学・院理・生物2)
- P015 カシノナガキクイムシの振動交信:雄は雌の振動信号により坑道外に誘導され雌を導入する
○大谷英児・高梨琢磨・所雅彦 (森林総合研究所)
- P016 再交尾に対する抵抗を進化させたメスは性的対立のコストを軽減できるのか？
○原野智広 (九大・理・生態)
- P017 イモゾウムシの原虫感染が繁殖に与える影響
○熊野了州1, 2・栗和田隆1, 2・城本啓子1, 2・原口大1 (沖縄病害虫防除技術センター1・琉球産経(株)2)
- P018 自発的な転回運動の調節による匂いの濃度勾配の追尾
○小嶋健1・佐久間正幸2 (住友化学農化研1・京大院農昆虫生理2)
- P019 スズメバチネジレバネの北海道における生活史
○佐山勝彦 (森林総研北海道)
- P020 *Eustenogaster* 属 (スズメバチ科:ハラホソバチ亜科) における巣構造の多様化
○斎藤歩希・小島純一 (茨城大学)
- P021 そしゃくによる食材性昆虫の木材粉碎度とセルロース消化効率の関係
○渡辺裕文 ((独) 農業生物資源研)
- P022 ホソバトビケラにおける体サイズの季節変化
足立真理子1・桑原大2・黒木出2・松尾泰幸2・○中村圭司2 (福女大・人間環境1・岡山理科大・総合情報2)
- P023 フジコナカイガラムシの休眠幼虫に対する温度の影響について
○澤村信生1・奈良井祐隆 (島根農技セ)
- P024 標識再捕法によるヘイケボタル成虫の個体群パラメータの推定
○小路晋作1・中村晃規1・中村浩二2 (金沢大・地域連携セ1・金沢大・環日本海域環境研究セ2)

- P025 ギャップ結合関連タンパク質イネキシンの超高压電子顕微鏡による3次元構造解析
神野美和1・吉村亮一1・○遠藤泰久1・西田倫希2（京都工繊大・応用生物1・大阪大・超
高压電顕2）
- P026 コガタリハムシの精子形成における昆虫ホルモンの役割
○小島紀幸（東北学院中・高）
- P027 ギャップ結合関連タンパク質イネキシンの発現に及ぼすエクダステロイドの影響
辻真央1・遠藤泰久1・○吉村亮一1
（京都工繊大・応用生物1）
- P028 台湾で採集されたウリミバエ複数集団における交尾時刻調節候補遺伝子 *cryptochrome*（光
入力に関わる時計遺伝子）の遺伝子型の解析
○瀧側太郎1・松山隆志2・山岸正明3・宮竹貴久1（岡大院・環境・進化生態1・沖縄農研
セ2・沖縄防除セ3）
- P029 1991年及び2009年に山口県に飛来したトビイロウンカのゲノムDNAにおけるニコチン性ア
セチルコリン受容体 $\alpha 1$ サブユニット遺伝子の部分配列比較
神松梨紗1・中川浩二2・溝部信二2・野田博明3・○小林淳1（山口大・農1・山口農林総
セ2・生物研3）
- P030 チャバネアオカメムシと針葉樹人工林以外の植生との関係
○滝久智1・田淵研2・外山晶敏3・飯島勇人4・岡部貴美子1（森林総研1・東北農研2・
果樹研3・山梨県森林研4）
- P031 日本における青色ワラジムシ類の種類相、および、分布
○唐沢重考1・高務淳2・加藤朱莉3（福教大1・森林総合研究所2・茨城県つくば市3）
- P032 導入寄生蜂放飼後のクマバチと寄生蜂の長期個体数変動
○志賀正和・外山晶敏・井原史雄（果樹研究所）
- P033 農薬を使用しないマツノマダラカミキリ成虫駆除の可能性
○杉本博之1・薦田邦晃2・岡部武治3・曾根晃一4（山口農林総セ 林技1・カモ井加工紙
（株）2・井筒屋化学産業（株）3・鹿児島大学 農学部4）
- P034 ニラのネギアザミウマに対する数種殺虫剤の殺虫効果および残効性
○草野尚雄・小西博郷・鹿島哲郎（茨城農総セ・園芸研究所）
- P035 物理的作用殺虫剤ソルビタン脂肪酸エステル乳剤（ムシラップ）のチョウ目害虫に対する効
果
○湯山将輝1・東出勝寿2（丸和バイオケミカル（株）1・花王（株）2）

- P036 わが国における *Macrocheles similis* (ハエダニ科) の発見とホウレンソウケナガコナダニに対する捕食の確認
○齊藤美樹 1・高久元 2 (道総研上川農試 1・北海道教育大学札幌校 2)
- P037 カスミカメムシ類による斑点米被害に土壤中の可給態ケイ酸が及ぼす影響
○櫻井民人・関矢博幸・田淵研・兼松誠司・榊原充隆(東北農業研究センター)
- P038 農地生態系において外来植物の開花がハナバチ類の訪花頻度に及ぼす影響
○笠木哲也 1・宇都宮大輔 1・大宮正太郎 1・木村一也 1・金子洋平 2・湯本貴和 3・中村浩二 1 (金沢大 1・新潟大 2・地球研 3)
- P039 ニホンミツバチにおける腸内細菌の解析
○松本崇・高屋紀子・呉梅花・岩田京子・木村澄・芳山三喜雄 (畜草研)
- P040 数種の日本産シデムシ類より検出された線虫
○神崎菜摘・池田紘士・松本和馬 (森林総研)
- P041 コナラに形成された虫瘻に由来する *Torymus* 属寄生蜂の調査
○屋良佳緒利 1・志賀正和 2 (中央農研 1・果樹研 2)